

台湾との秋季定期チャーター便の運航内定について

～いわて花巻空港から世界へ！秋季に台湾へ週 2 便（火曜日・土曜日）で運航が内定～

この春に続き、いわて花巻空港と台北を結ぶ定期チャーター便が、10 月から 11 月までチャイナエアライン（中華航空）により運航されることが内定しました。
県としては、本チャーター便を定期便化に向けた重要なステップと捉え、一層の利用促進に取り組んでまいります。

1. 定期チャーター便の運航計画の概要

○運航会社：チャイナエアライン（中華航空）

○運航期間：平成 26 年 10 月上旬～11 月下旬の週 2 往復（※ 1）

当該期間の火曜日・土曜日に運航、15 往復 30 便程度の運航。（※ 2）

※ 1 期間及び発着時間は現在最終調整中

※ 2 春季は木・日の週 2 往復で 19 往復 38 便

○運航機材：ボーイング 737-800 型（158 席）（春季に同じ）

○運航形態：日本人・台湾人の混乗型（春季に同じ）

但し、運航本数などについては、チャイナエアラインと日台双方の旅行会社間で、現在調整中であり、変更の可能性があります。

2. 運航内定に至る経緯

- 平成 25 年 4 月に知事を団長とするミッション団が台湾を訪問し、チャイナエアラインに台湾との国際定期便就航を正式に要請しました。同年 9 月には、チャイナエアラインの孫会長が本県を訪れ、いわて花巻空港の視察などを経て、平成 26 年春に週 2 便での定期チャーター便の運航が初めて実現しました。
- 秋季の台湾からの訪日需要にこたえるとともに、本県の訪台（アウトバウンド）需要の一層の喚起を図るため、台湾観光のベストシーズンである秋季における定期チャーター便の実施の運びとなったものです。

3. 旅行商品の販売について

今回の定期チャーター便を利用した旅行商品は、県内取扱旅行代理店が 7 月末から販売する予定です。

（裏面あり）

<参考資料> 花巻・台北間春季定期チャーター便の利用実績（確定値）

1 運航機材：B737-800（定員 158 席※1）

※1：1便あたりの座席数／アウトバウンド（日本側）75 席，インバウンド（台湾側） 83 席

2 運航本数：合計 19 往復 38 便

3 合計利用者数 4, 697 人（※2）／平均利用率 82. 6%

※2：実人数換算ではこの半数となること。

<月別利用者数・平均利用率一覧>

区分		合計利用者数／総座席数	平均利用率
4 月	アウトバウンド	458 人／525 席	87.2%
	インバウンド	527 人／581 席	90.7%
5 月	アウトバウンド	1,079 人／1,350 席	80.0%
	インバウンド	1,177 人／1,494 席	78.8%
6 月	アウトバウンド	767 人／825 席	93.0%
	インバウンド	689 人／913 席	75.5%
アウトバウンド合計		2,304 人／2,700 席	85.3%
インバウンド合計		2,393 人／2,988 席	80.1%
全体合計		4, 697 人／5, 688 席	82. 6%

【本件問い合わせ先：県土整備部空港課 箱石・畠山 内線 5914】